

平成26年度 第10回富里市教育委員会定例会議会議録

富里市教育委員会

- 1 期 日 平成26年12月24日(水)
開会 午後2時
閉会 午後3時15分
- 2 場 所 本庁舎3階第3会議室
- 3 出席委員 委 員 長 武 井 勝 彦
委員長職務代理者 佐々木 浩 二
委 員 森 田 惠 子
委 員 會 田 直 子
教 育 長 國 本 與 一
- 4 出席職員 教 育 次 長 大 竹 明 男
教 育 総 務 課 長 高 須 利 幸
学 校 教 育 課 長 佐 藤 浩
学 校 給 食 中 心 所 長 大 木 正 吾
生 涯 学 習 課 長 榊 原 孝
図 書 館 長 根 本 優
- 5 事務局職員 教育総務課課長補佐 中 津 義 孝

平成27年1月27日

署 名 人

署 名 人

会議録作成人

1 委員長開会宣言

委員長 平成26年度第10回富里市教育委員会定例会議を開会する。

2 前回会議録の承認

平成26年度第9回定例会議会議録承認

(署名人：武井委員長，會田委員)

3 教育長報告

・11月28日，12月定例議会が開会した。また，中学校体育連盟印旛支部受賞祝賀会があり，七栄小学校校長が千葉県学校体育功勞を受賞した。

・12月2日，第1回富里市小中学校交流駅伝大会があり，約370名の選手が参加した。

・12月3日から5日まで，定例議会一般質問が行われた。統合問題のある洗心小学校児童への心のケアに関する事で，2名の議員から質問があったが，緊急に対応すべき状況にはないと学校も教育委員会も判断している。

・12月6日，障がい者フェスティバルが福祉センターで行われ，芸能発表で楽しむ会となった。

・12月7日，印旛郡市駅伝競走大会が行われ，委員長とともに出席した。富里中学校がAチームの部，Bチームの部でそれぞれ1位になった。

・12月8日，浩養小学校で北総教育事務所指導室訪問が行われた。

・12月9日，文教厚生常任委員会が開かれ，その他事項で洗心小学校の統合について経過報告をした。

・12月11日，社会教育委員会議が開かれた。

・12月12日，富里スイカロードレース大会実行委員会が開かれた。次回大会より，Tシャツデザインを全国から公募することになった。

・12月18日，議会最終日を迎え，全議案が可決され，閉会した。

・12月24日，富里市少年少女の翼「空の環境学習」が成田国際空港で行われ，午前中，参加した。

今後の予定については，12月27日から1月4日まで年末年始の閉庁となり，1月5日が仕事始めとなる。また，成人式は1月11日（日）に行われる。

4 教育委員報告

委員 12月2日，第1回富里市小・中学校交流駅伝大会に出席した。

社会体育館周辺を会場とし，多くの先生方の参加とボランティアの方の協力によって大変スムーズに進行されていた。子どもたちと先生方の

楽しそうな表情が印象的であった。参加チームには、立派なたすきが用意され、気持ちを盛り上げたことと思う。小学校の子どもたちを中学生が応援する姿は、小中学校合同大会ならではのものであり、見ていて温かい気持ちになった。ただ、時期的に大変寒かったこと、合同の大会であるため待ち時間が長いこと、午後からの開始であるので解散時間が遅くなったこと、学級対抗形式であったので小規模校が上位に入ることが難しいことなどは、工夫が必要であると感じた。

委員 12月8日、浩養小学校の北総教育事務所指導室訪問に出席した。どの学年も非常に落ち着いて学習に取り組んでおり、先生と子どもたちが、とても良い関係で日々の学校生活を送っていると思った。

5年生の道徳の学習授業では、「響け心のリコーダー」というDVDを視聴し、主人公の思いに自分を重ねながら、公正公平や正義を重んじることの大切さを気づかせていく学習であった。また、美味しい味噌汁作りの学習では、家庭で調べてきた味噌汁を元に学習が展開され、自分の家は合わせ味噌だ、小松菜が入るなど、それぞれの家庭の様子が授業のなかにも生きていた。子どもたちが生きいきと発表する様子を見て、それぞれの家庭で工夫された味噌汁が食卓にならんでいるのだろうと、思い浮かべながら授業を参観した。6年生の外国語活動では、子どもたちが自信をもって英語を話し、コミュニケーションを楽しんでいた。外国語活動に6年間取り組んでおり、その積み重ねはすごいと思った。

子どもたちは外国語活動が好きであるとのことで、楽しく活動している様子を見てみると、中学校の英語学習にうまく結びついてくれるとよいなと思った。どの学年も小規模の特性を活かしたきめ細やかな指導がなされていたが、10名を下回るクラスの話し合いを見ていると寂しいなと思った。

5 議案

委員長 議案第1号から議案第3号までについて、提案者である國本教育長から提案理由の説明を求める。

教育長 議案に対する提案理由について説明をする。

議案第1号は、富里市立幼稚園児預かり保育に関する規則の一部を改正する規則の制定について、富里市教育委員会行政組織規則第8条第2号の規定により、教育委員会の議決を求めるものである。

次に議案第2号は、富里市立幼稚園保育料等徴収条例の一部を改正する条例の原案について、本案は、子ども子育て支援新制度への移行に当たり、入園料を廃止するとともに、預かり保育料を改定するものである。

次に議案第3号は、富里市立図書館の管理及び運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について、富里市教育委員会行政組織規則第8条第2号の規定により、議決を求めるものである。よろしくご審議の上可決されるようお願いする。

委員長 議案第1号を審議する。

- (1) 議案第1号 富里市立幼稚園児預かり保育に関する規則の一部を改正する規則の制定について

学校教育課長 本案の改正点は3つで、一つめは、預かり保育時間を午後4時から午後5時まで延長する。二つめは、預かり保育に関する規則であるので、例えば「預かり実施幼稚園」を「実施幼稚園」とするなど、預かり保育という言葉を取る用語の整理である。三つめは、旧規則の構成は13条であったものを9条とする。例えば、管理責任者を園長とするなどあたりまえの規定は、他の規則等で載っていることであるので、預かり保育に関する事項を規定することとして精査した。

<採決>

議案第1号は、賛成全員により原案のとおり可決した。

- (2) 議案第2号 富里市立幼稚園保育料等徴収条例の一部を改正する条例の原案について

学校教育課長 本案は、預かり保育手数料を日額250円から300円にする。入園料の3,000円をなくすというものである。富里市は近隣の幼稚園と比べて若干保育料が高いためである。また、保育料等という用語を保育料及び預かり保育料と「等」の部分明確にするものである。

<採決>

議案第2号は、賛成全員により原案のとおり可決した。

- (3) 議案第3号 富里市立図書館の管理及び運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について

図書館長 本案は、図書館の祝日開館を平成27年度から本格実施するために改正する。開館時間について、金曜日にあっては午前9時30分から午後7時までとなっているが、休日が金曜日に当たった場合は午前9時30分から午後6時までとする。休館日の規定は、1月1日を除く休

日を開館するための改正，その他用語の整理を行うものである。

<採決>

議案第3号は，賛成全員により原案のとおり可決した。

6 報告事項

(1) 月例報告（各課等）

教育総務課

- ・12月18日に12月議会が終了した。
- ・1月27日14時に教育委員会定例会議を開催する予定である。

学校教育課

- ・12月22日に小中学校の終業式が行われ，1月7日に始業式を行う。
- ・1月23日，学校教育研究会公開研究会がある。
- ・小中学校駅伝競走大会が無事に終了した。各学校から課題と成果の報告があり，課題の中では安全面として，給食を食べた後に長距離を走ること自体がどうなのか，野球場の出入口の狭さという物理的な問題，日程としてバスの回送がうまくいかず，富里北中学校の帰りの際は真っ暗になってしまったことである。

運営上で課題を改善できるものはいいのだが，根本的な内容面についての課題も生じた。クラス対抗で行ったが，小学校であるとその時間は1クラス5～6人が抜ける。残った子どもたちが全員で応援にいきたいということであるが，会場の問題，輸送など物理的に困難であるので，一部の子どもたちだけの大会にならないかということ。駅伝という内容が他の体協等の行事と重複するということ。中学校からは負担感が大きいと意見が出ていた。来年度以降，どうしていくのかについては，根本的な部分を検討していく必要がある。各学校には行事の精選が働きかけられており，授業時数の確保，学力の向上が全面的に掲げられている中で，市の教育委員会が新たに行事を設けることは非常に厳しいものがある。

皆さんが納得されるものでないと，動いていただけないので，課題を検証して改善策を出していかないと，なかなかうまく運営していけないというのが率直な反省である。

体育主任等の熱意，頑張りが伝わり，当日は本当にいい天気であった。

曇りの日であると4時過ぎでも暗くなっていたことを考えると，恵まれた時間を過ごしたという感想を持っている。

委員 第1回目の駅伝大会として，内容は素晴らしかったと思う。

ただ、小規模校である洗心小学校と浩養小学校，チームを複数出している富里小学校と富里南小学校との格差がありすぎた。洗心小学校の子どもが1人遅れ以上の差でたすきを繋ぎ，ゴールをしたときは，暖かい拍手があったが，本人がどのような気持ちで走っていたのかを考えると，手放しに喜ぶことはできないとしみじみ感じた。学校に残っている子どもたちは自習しているクラスもあったと聞いている。また，インフルエンザのはやる時期でもあり，来年の開催については疑問に思われた。

目的として，交流を深めるということとあるが，結局は達成されていない印象を受ける。また，体力向上を図るという目的としては，大会に出たのは選手だけであるので，事前にどの程度全体で練習をしたのか，子どもたち一人ずつをみたときに達成できたのかは疑問が残る。

ジョイントスクール事業として目指すのであれば違う時期に違う種目で計画をしたほうがよいのではないかという意見である。

委員長 学校教育課長，委員の意見に同感と感ずるところが多い。当日の競技会自体は，素晴らしい内容であったと思う。繰り返してしまうが，小規模校のハンデ，洗心小学校の子どもたちの走りが遅れたことが，心配になったので後で様子を聞いてみた。参加した子どもたちは，自分の記録を上回ったということで，やってよかったという思いがあったと聞き安心した。交流を全面に出していくのであれば行事を変えてみるとか，駅伝大会を継続していくのであれば小規模校のハンデなどを検討して来年のためにつなげていければと思う。

委員 けがもなく，事故もなく無事に終わってよかった。（走力に）学校格差があるのは気になった。最後にゴールした子どもは，普通であれば心細い気持ちになるだろうと思うが，順天堂大学の学生が並走してくれ，子どもたちは最後まで走りきることができた。多くの手助けがあつて無事に終わったと感じる。

交流を大きな目標に掲げるのであれば，クラス代表の交流ではなく，多くの子どもたちが参加できる形，内容を考える必要があると感じた。

駅伝という形を残すのであれば，この時期は寒いこと，学校の耐寒マラソンの取組みがこの時期であるので，その時期を大きくずらしていくことも難しいという気がする。駅伝という形には無理があるように思う。

委員長 交流を考えると，小学生が先輩である中学生を応援したり，母校の小学校を応援するというのは素晴らしいことである。保護者に聞いてみたところ，洗心小学校の保護者たちは，自分の子どもの能力を理解しているので（走りの格差について）納得しているようであったが，大規模校の保護者は交流になっていないという旨の話をしていった。

委員 駅伝大会には、2人の息子が出た。2人の様子を見ると朝からやる気があって兄弟でたすきの受け渡しの練習をしており、当人たちはとても楽しんでた。親としても見ていて楽しかった。他の学校の子と交流できたかを聞いたところ案外しゃべらなかつたとのこと。日吉台小学校と北中学校の子どもたちの下校が遅かつたので心配であつた。朝から行つてもよかつたのではないかと思つた。

また、クラス全体で応援に行きたかつたと聞いたので、全員の参加も考えてもよいと思つた。駅伝ではなく他の種目であつても交流会としてよかつたと思うが、時間や参加者を考えていけばよいと思う。

委員長 食事をした後に走ることについても、食べた物の関係で気分が悪くなつたことはなかつたと思うが考慮は必要ではないかと思う。

小規模校対策について、富里南小学校、洗心小学校、浩養小学校から選抜にして一つのチームを作ると、もっと交流が図れるのではないか。

一つの行事をもつて学校を動かしていくのは大変であるが、子どもたちが一番いい交流ができるように、先生方の負担がなく無理のないように交流を進めていけたらよいと思う。駅伝大会とした意図は何か。

学校教育課長 大会形式、代表による競技会形式で同時に交流を成立させるのはなかなか難しい。ジョイントスクールの目的は、中一ギャップの解消、小学6年生から中学1年生へのスムーズなつながりである。陸上など体育会系で活躍する子どもたちは不登校になるリスクが低い。

競技会など体育的なものを行うとすれば、交流とは引き離して小学校陸上大会を市の行事として行う。純粋な体育行事として選手要請をして学校対抗で行う。交流という形であれば実現するかどうかは別として、小学6年生と中学1年生の全てを呼ぶ。840人程になるので1箇所ではできない。中央学園と北・南学園の2ブロックに分け、1部2部制、半分は体育館で半分は外で行う。時間が経ったら会場をチェンジする。

競技ではなく、走り方教室など全員が同じ会場で学ぶ。競技ではなく全員参加になれば午前中の授業を3、4時間なくしても全員で参加する行事であるので納得する度合いが高いのではないかと思う。

中学校からの反省点では、走り終わった中学生が時間をもてあまして早く帰りたい、遊んでいるなどである。指導が至らなかつたということもあるが、競技と交流をうまく棲み分けをした上で考えていきたい。

委員長 子どもたちは交流というより勝負になつてた。順天堂大学学生の先導があり、ペースメーカー的になつた。後続との距離がより離れたのではないか。来年度、いい方向にもつていきたいと思うがいかが。

佐々木委員 競技内容は素晴らしかつたので、もう1度検討しなす余地

はあると思う。これだけの競技結果データを細かくまとめるのは大変な作業であったと思う。御苦労があったと思うので実施内容を検討、見直すべきだと思う。

委員長 来年度に新しい行事があるか、あれば前もって委員に話をいただきたい。

学校教育課長 いまのところ新しい行事はない。

教育長 小中学校交流駅伝大会を実施したところ、十分な交流を図れなかったのではないかと御指摘があったが、小中学生が一堂に集まるという機会が富里市ではなかったため、他校の学級代表の走る姿を見ることができただけでも一つの交流ではないかと思う。中学生が頑張っている姿を見せたりすることも大事なことであったと思っている。

一つの例として、中学校男子の部で1位は、富里中学校の陸上部であった。最後の走者が富里中学校の柔道部であったわけだが、それぞれ一生懸命に参加していた。競技の内容が変わって柔道場で柔道が行われれば柔道部が1位になっていただろうし、陸上部は1位になることはなかったであろうと思う。交流という面でいろいろと多くの期待をすることはあるが、少しは成果が得られたと思う。いろいろな御意見をいただき、また、成果と課題の報告を受けているので、次回の大会をどうするかについては、できるだけ早く検討し委員の皆さまに方向性について協議をしてみたい。

委員長 各学校からの課題等が出てきたら教えていただきたい。

委員 補足として、もし来年も実施するのであれば、順天堂大学学生だけではなく、駅伝大会に実績がある富里高校の生徒にもお手伝いを依頼していただきたい。地元の高校であるので、なお一層交流が深まるのではないかと思う。

学校給食センター

- ・ 12月18日で2学期の学校給食が終了した。1月8日から3学期の給食を開始する。
- ・ 1月末に太陽光発電設備の設置工事が完了する。統合改築事業で南側の駐車場部分の手直し工事については、無事に完了した。

生涯学習課長

- ・ 12月2日～16日、芸術鑑賞事業を実施し、酒々井町在住の方の陶芸作品を展示した。来場者の延べ人数は2,399人、1日平均184人であった。
- ・ 1月11日、平成27年富里市成人式を行う。10時から受付を開始し、10時30分から成人式実行委員会を中心とした手作りのスライドショ

一を行い、11時から成人式の式典である。新成人対象者は555人である。

・1月18日、青少年相談員50周年事業として、千葉市ポートアリーナでレッツダンスいんちば2015を行う。

・12月7日、第84回印旛郡市駅伝競走大会が佐倉市岩名運動公園で開催された。一般の部は9チーム中7位であった。高校生の部は富里高校Aチームが4チーム中3位であった。富里中学校Aチームが27チーム中1位であった。富里中学校Bチームは3チーム中1位であった。

・12月12日、スイカロードレース大会実行委員会会議を行い、第31回大会の決算、第32回大会の事業予算案を諮った。第31回大会の改善策として、間口奥行きが狭く、3箇所であった手荷物預かり所は、間口奥行きを広くして、スタッフを充実させて1箇所で行う案である。

公共交通機関の関係で会場に着かない、スタート時間に間に合わないということがあり、バス輸送、駐車場の改善策が見つからないため、当日に会場に着いてからゼッケンを取り付け、記録をとるためのタグをつける、時間短縮をするために、事前にゼッケンとタグを郵送する。当日は、受付をしなくてもスタートができるという改善案を提示し、承認いただいた。

他の大会でも事前発送方式を行っているので、多くの方が参加できる方策として新しい取組みを行っていききたい。

・12月19日、(仮称)印旛地区スポーツ推進委員連合会会議において、県の新しい枠組みとして、印旛管内の印西市、白井市、栄町が八千代市の地域になる。今年度、富里市が印旛地域の会長市となっているので、引き続いて来年度に新しいブロック長になる予定である。

・1月12日、富里市スポーツ少年団駅伝大会が開催される。

委員長 11月に行った岩崎別邸特別公開の状況はいかがであったか。

生涯学習課長 11月29日、23組46人の参加で比較的高齢の方が多かったが、中には学生と思われる若い方もいた。2グループに分けて、それぞれ1時間程度、敷地内を拝観し、職員説明を聞いていただいた。

そもそも岩崎別邸とは何か、歴史的背景を聞いていただくのが初めてという方が多かった。本格的に建物の中に入れる公開はいつかという質問には、整備の進捗状況をみていただく特別公開を春先以降に企画していききたいと話した。

図書館

・12月27日土曜日まで開館し、翌28日と1月4日は館内整理日、1月6日から通常開館をする予定である。

7 その他

教育長 平成26年度洗心小学校児童内訳について（平成26年12月1日現在）をご覧いただきたい。

今年度の状況は、学区内からは27名、小規模特認校を利用されている方が6名、指定校変更で3名、区域外就学（他市町村から）で4名、合計で40名である。区域外就学者は山武市から2名、芝山町から2名である。

平成27年度の見込みとして、学区内からは22名、小規模特認校で5名、指定校変更で4名、区域外就学で4名、合計で35名である。児童全体としては5名減の35名となる見込みである。

平成27年度に新1年生の対象者として学区内から3名がいたが、3人とも全て他校へ入学する見込みとなった。平成28年度に新1年生の対象者として5名いるがどのようになるかは見通しがたっていない。

就学の状況は様々であり、平成26年度学区外の就学者は13名、学区外就学者の比率は32.5パーセント、平成27年度は同じ人数の13名であるが、比率が高まり37.1パーセント、つまり3分の1以上が学区外の就学者である。

教育委員会として統合についての基本方針を定めたことにより、計画に沿って進めば、新5、6年生は洗心小学校で卒業し、新1～4年生は富里南小学校へ編入することとなる。子どもさんの学年によって状況が変わってくる。

在校生への心のケアについては、現在緊急に対応する状況ではない判断をしており、状況をみて対応していく。

なお、洗心小学校の在り方検討協議会等の開催をできるだけ早急に開き、地区の説明会の日程、内容等を話し合っただき、地区の方々への説明会を実施したいと考えている。

委員 保護者会の話があった後、子どもたちが動揺して泣いている姿があったと聞いた。そのときは、心のケアを考えていかなければいけないと感じたのだが、いまの子どもたちの学校での様子、家庭での様子は落ち着いていると判断していいのか。

教育長 保護者会では、1名、2名の保護者から自分の子どもの話としてあったことを記憶している。正式に保護者、地域の方の了解を得て、統合するということが決定していないので、子どもたちにどう話すかという難しさもあると思う。

学校で子どもたちの様子を細かく観察をしているので、必要な状況が生じたら対応したいと考えている。

委員長 学区内の入学予定者3名が他校に就学することとなったのは、統廃合を見据えての保護者の判断ではないかと思われるが、地元の子どもが入学しないのは不自然であると思う。仮に統廃合されるとしても洗心小学校に入学して1年でも2年でも大丈夫ですよと、教育委員会が責任をもって、地域に説明する必要があると思う。ある程度不安があるからこのような形になるのではないかと思うがいかがか。

教育長 保護者への説明会を実施したが、地域の方々への説明会がまだであるので早急に開き、きちんと説明をして理解を得ていきたいと思う。

委員 平成27年度に学区外から入学する2名の保護者は、新1年生の入学状況を理解しているのか。

学校教育課長 いまも上の子どもが通っているので、このような状況は理解されている。

委員長 入学生が0ということがあった場合、小学校としての機能はどのようなになるのか。

学校教育課長 過去にも他の地域で入学生が0ということがあった。

まず、入学式がない、6年生が新入生の面倒をみるということで最高学年という自覚を持つという機会がないということになる。新2年生は、通常であると、弟妹が入り、ちょっとお兄さんお姉さんになるという教育的効果があるのだが、その機会がない。いろいろな学年での教育効果にマイナスがあることは避けられない。2～6学年までしかない小学校を考えると学校機能の全般部分でいろいろな影響があると思われる。統廃合がみえている学校に入学せず、統合先に先回りして入学するという傾向は、他の市町の合併を見てよくあることである。途中で転校するならば、最初から統合先の学校に入学し、広く友人関係を作りたいという発想が保護者にある。

8 委員長閉会宣言

委員長 以上で、平成26年度第10回富里市教育委員会定例会議を終了する。